

Press Release

報道関係各位

日頃よりたいへんお世話になり、格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
わずか 100 席の小ホールでありながら本格的な音響設計を施された演奏空間として
オープン以来、多くの演奏家の方々に愛されている室内楽演奏ホール **sonorium** が
2010 年秋冬シーズンから開催する共催シリーズ 2010『映像と音楽』につきまして
報道資料をご送付申し上げます。

このシリーズは **sonorium** という演奏空間ならではの
演奏家とヴィジュアルアーティストのコラボレーション公演の開催費用の一部を
sonorium がバックアップし、新しいジャンルの芸術表現を
より多くの皆さまにご覧いただけるようにという願いからスタートし
2010 年度より、毎年、企画を募集して継続的に開催を予定しています。

ご多忙と存じますが是非、ご一読いただき
演奏会の新しいスタイルを創る独創的企画シリーズとして
貴誌にて取材ご紹介いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

ホール及び本シリーズ出演者の photo のご依頼等
本プレスリリースに関するお問い合わせは以下にお願いいたします。

〒168-0063 東京都杉並区和泉 3-53-16

株式会社 **sonorium**

TEL 03-6768-3000

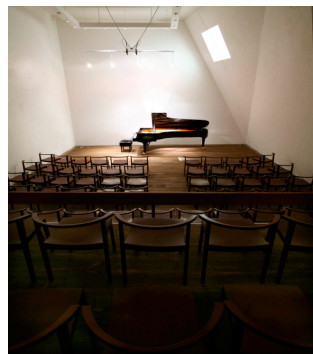
URL <http://www.sonoium.jp>

e-mail hall@sonorium.jp

Definitely!

Concert in New Style !!

sonorium ならではの美しく、新しい演奏会。
2010年秋冬シーズンから
共催シリーズ『映像と音楽』としてスタートします。



sonorium 共催シリーズ 2010 『映像と音楽』は

映像とともに室内楽を楽しむ新しい演奏会シリーズです。

演奏会は磨かれた演奏自体で素晴らしく、大きな賞賛に値します。
ただ、そこに、もうひとつの芸術、ヴィジュアルアートが加わり、演出家が参加し
演奏とのコラボレーションが成立したとき、音楽への新しい印象が生まれ
その空間でしか刻むことのできない特別な美しい記憶を心に残します。

セットや映像とともに表現される音楽芸術はオペラ・映画・ミュージカルと、さまざまですが
映像とともに珠玉の室内楽を楽しむ演奏会は
時代とともに演奏家&映像作家のチームがさまざまに誕生し
上演のニーズがあるにも拘らず実現が限られている状況でした。

映像を投影するハードとしてスクリーンが不可欠ですが、媒体としてのスクリーンの持つリアルさが
演奏が誕生させたいフュージョンなイメージと相克する可能性が高いためです。

『映像と音楽』のコラボレーションという二つの芸術の出会いがめざす表現として成功するには
音響の素晴らしさと視覚的効果を同時に可能にする特別な空間が求められます。

sonorium は意匠設計を建築家青木淳、音響デザインは永田音響設計が担い
その ”特別な条件”を備える演奏ホールとして
映像と音楽のコラボレーションを表現しようとする演奏家&ヴィジュアル・アーティストから
オープン以来、注目を集めてきました。

ステージ後方の漆喰の高い白壁に映し出される映像とともに
珠玉の演奏を聴く時間は今までにない新しい演奏会を可能にします。

この空間ならではの美しく、新しい演奏会は
公演費用の一部を **sonorium** がバックアップする共催シリーズとして 2010 年秋からスタートします。

今シーズンも注目される演奏家、気鋭のヴィジュアルアーティスト、演出家が構成する 5 チームの参加によって
特筆に値する表現レベルの充実したプログラムが揃いました。

2010 年シリーズには<演奏家&ヴィジュアルアーティスト> 5 チームが

オリジナル企画でそれぞれ 1~4 公演日程で参加します。

< 各公演詳細は別紙をご参照ください >